1. 化学物質等及び会社情報

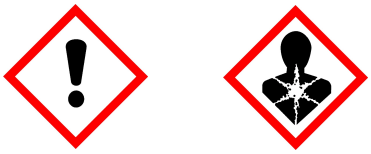
製　品　名 ： SDフロアコート SD－13 グリーン
会　　社 ： 東洋ゴム化工品株式会社
住　　所 ： 東京都新宿区天神町10番地
担 当 部 門 ： 防水資材販売部
電 話 番 号 ： 03-3235-1713　ﾌｧｯｸｽ番号　03-3235-1500

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性	
経口:	区分外
経皮:	区分外
吸入(ガス):	分類できない
吸入(蒸気):	区分外
吸入(粉塵及びミスト):	区分外
皮膚刺激性/腐食性:	区分3
眼に対する重篤な損傷性/刺激性:	区分外
感作性	
呼吸器:	区分1
皮膚:	区分1
生殖細胞変異原性:	区分外
発癌性:	区分2
生殖毒性:	区分1B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):	区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):	区分1
吸引性呼吸器有害性:	区分外
水生環境	
有害性(急性):	分類できない
有害性(慢性):	区分外

GHSラベル要素



注意喚起語
危険
危険有害性情報:
軽度の皮膚刺激
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こす恐れ
アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ
長期又は反復暴露による臓器(中枢神経系、呼吸器、心臓)の障害
臓器(中枢神経系、呼吸器、腎臓、心臓)の障害
水生生物に有害
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ

注意書き:
≪安全対策≫
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全を読み理解するまで取り扱わないこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護衣等を着用すること。

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

≪応急措置≫

曝露またはその懸念がある場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。

≪保管≫

施錠して保管すること。

≪廃棄≫

内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

有害性:
知見なし

環境影響:
知見なし

物理的及び化学的危険性:
通常の取扱いでは、火災の危険は低い。

重要な徴候:
特になし

想定される非常事態の概要:
特になし

国/地域情報:
分類基準に該当しない

3. 組成･成分情報 (化管法、労安法、毒劇法におけるMSDS表示対象物質)

化学物質･混合物の区別:
混合物

化学名又は一般名:
エマルション塗料(水性)

濃度又は濃度範囲:

化学名または一般名	略号	含有量	官報公示整理番号		CAS No
			化審法	安衛法	
エチレングリコール	-	1.0%未満	-	-	107-21-1
アンモニア水	-	0.2%未満	-	-	1336-21-6
結晶質－石英	-	40-50%	-	-	14808-60-7
酸化チタン(IV)	-	1.0%未満	-	-	13463-67-7
三酸化クロム(酸化クロム)	-	0.8%以下	-	-	1308-38-9
黄色酸化鉄	-	1.0%未満	-	-	20344-49-4
カーボンブラック	-	1.0%未満	-	-	1333-86-4
フタロシアニングリーン	-	1.0%未満	-	-	1328-53-6

法規制対象成分:

成　分	安 衛 法	PRTR法
エチレングリコール	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
アンモニア水	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
結晶質－石英	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
酸化チタン(IV)	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
三酸化クロム(酸化クロム)	通知対象物質	第１種指定化学物質 第87号
黄色酸化鉄	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
カーボンブラック	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
フタロシアニングリーン	通知対象物質	指定化学物質に該当しない

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物:

特になし

4. 応急措置

異なる暴露経路、すなわち吸入、皮膚や眼との接触及び経口摂取にしたがって細分された必要な措置

眼に入った場合:

直ちに大量の清浄な流水で洗い流す。
上下の瞼を持ち上げることにより、眼の完全な洗浄を行う。
眼の損傷の後のコンタクトレンズの除去は熟練者により処置する。
できるだけ早急に医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合:

付着物を布等にてすばやく拭き取る。
大量の水及び石鹸にて充分に洗浄する。
外観に変化が見られたり、痛み等の刺激があれば医師の診断を受けること。

吸入した場合:

蒸気、ガス、粉塵、燃焼生成物等を吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静に休ませる。
入れ歯をしている場合には外すこと。嘔吐物は飲み込ませないこと。
呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。
必要なら心肺蘇生法(CPR)を行うこと。
当該MSDSやラベルを医師に示し、診断を受けること。

飲み込んだ場合:

安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物がある場合、気道確保のため、患者をうつ伏せにするか、左側を下にして寝かせ、嘔吐物を飲み込まないようにする。

最も重要な徴候及び症状:

特になし

応急措置をする者の保護:

適切な保護具(保護メガネ、防塵マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

医師に対する特別な注意事項:

特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

水〔 ○ 〕　炭酸ガス〔 ○ 〕　泡〔 ○ 〕　粉末〔 ○ 〕　乾燥砂〔 ○ 〕

化学品から生じる特定の危険有害性:

有害燃焼生成物

消火作業者用の特別な保護具と予防措置:

適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用すること。
可燃性のものを周囲からすばやく取り除くこと。

指定の消火器を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置:

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を使用する。

多量漏出時にはエリアから人員を退去させ、風上に移動する。

環境に対する予防措置:

利用可能な任意の手段により河川、配水管等への流入を防ぎ、環境への影響を起こさないようにする。

河川、配水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

回収、中和、封じ込めおよび浄化方法と機材:

大量の流出時には乾燥砂、土で囲い、流出を阻止する。

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置:

換気のよい場所で取り扱う。

容器はその都度密栓をする。

使用後のウェス、カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水につけておく。

皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、眼に入らぬよう適切な保護具を着用する。

取扱い後は手･顔などをよく洗い、休憩所などに手袋等の汚染物質を持ち込まないこと。

取扱い時には、飲食又は喫煙はしないこと。

安全な保管条件(配合禁忌等):

日光の直射を避ける。

容器を密閉して通風の良いところに保管する。

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的暴露限界値、生物学的限界値):

成分名	管理濃度	許容濃度		
酸化チタン(IV)	設定されていない	10mg/m^3	TWA	ACGIH
結晶質－石英	設定されていない	0.025mg/m^3	TWA	ACGIH

設備対策:

装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。

腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露しないように配慮すること。

必要に応じ次の保護具を着用する:

密閉された場所では送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器、有機防毒マスクを適時選択する。

保護眼鏡、不浸透性の保護手袋、防護長靴、防護服。

作業中の飲食、喫煙はしないこと。飲食、喫煙前には手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観	：	液体	色	：	グリーン色
臭気	：	僅かな刺激臭	pH	：	8～9
融点	：	－	凝固点	：	－
沸点	：	－	引火点	：	－
発火点	：	－	比重	：	1.50～1.65
爆発限界（上限）	：	－	爆発限界(下限)	：	－
蒸気圧	：	－	溶解度	：	易溶
ｵｸﾀﾉｰﾙ/水分配係数	：	－	動粘性率	：	－

10. 安定性及び反応性

化学的安定性:
　常温付近では危険な反応はしない。
避けるべき条件:
　知見なし
混触危険物質:
　知見なし
危険有害な分解生成物:
　知見なし

11. 有害性情報

成分の物理的危険性情報

成分名	CAS No.	自己発熱性物質および混合物	金属腐食性物質
エチレングリコール	107-21-1	分類できない	分類できない
アンモニア水	1336-21-6	区分外	区分1
三酸化クロム	1308-38-9	区分外	分類できない
酸化チタン	13463-67-7	区分外	分類できない
カーボンブラック	1333-86-4	区分1-2（動植物系原料）	分類できない

成分の健康に対する有害性情報 表1

成分名	急性毒性 経口	皮膚腐食性 ･刺激性	眼損傷性 ･刺激性	呼吸器感作性	皮膚感作性
エチレングリコール	区分5	区分3	区分2B	分類できない	分類できない
アンモニア水	区分4	区分1A－1C	区分1	分類できない	分類できない
三酸化クロム	分類できない	分類できない	分類できない	区分1	区分1
酸化チタン	区分外	区分外	区分2B	分類できない	区分外
カーボンブラック	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

成分の健康に対する有害性情報 表2

成分名	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器（単回）	特定標的臓器（反復）
エチレングリコール	区分外	区分1B	区分1（中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器）	区分1（中枢神経系、心臓、呼吸器）
アンモニア水	分類できない	分類できない	区分2（呼吸器系）	区分2（呼吸器系）
三酸化クロム	区分外	分類できない	分類できない	分類できない
酸化チタン	区分外	分類できない	区分3（気道刺激性）	区分1（肺:吸入）
カーボンブラック	区分2	分類できない	分類できない	区分1（肺）

急性毒性:

酸化チタン(IV)	＞10,000mg/kg	経口ラット(LD_{50})	IUCLID
酸化チタン(IV)	＞6.82mg/1-4hr	吸入ラット(LD_{50})	IUCLID
エチレングリコール	4,000-10,200mg/kg	経口ラット(LD_{50})	CICAD
エチレングリコール	10,600mg/kg	経皮ラット(LD_{50})	CICAD

皮膚腐食性/刺激性:

労働衛生対策として暴露を最小限に抑えるため、適切な保護手袋を使用する必要がある。
切創、擦過傷および皮膚の変異部などを通じて血流に入ると、毒性影響を伴う全身疾患を引き起こす事がある。使用前に皮膚を検査し、あらゆる傷口を適切に保護しておくこと。
GHS判定基準による混合物として皮膚腐食性/刺激性

眼に対する重篤な損傷/刺激性:

データなし

呼吸器又は皮膚感作性:

データなし

生殖細胞変異原性:

データなし

発癌性:

データなし

生殖毒性:

データなし

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):

データなし

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):

データなし

吸引性呼吸器有害性:

データなし

12. 環境影響情報

成分の環境に対する有害性情報

成分名	水生環境有害性(急性)	水生環境有害性(慢性)
エチレングリコール	区分外	区分外
アンモニア水	区分1	区分1
三酸化クロム	区分1	区分1
酸化チタン	区分外	区分4
カーボンブラック	区分外	分類できない

生体毒性

魚類:

エチレングリコール	＞100mg/1-96hr	ヒメダカ(LC_{50})	環境省生体影響試験

甲殻類:

酸化チタン(IV)	＞1000000μg/L(48H)	オオミジンコ	AQUIRE

藻類:

データなし

残留性/分解性:

データなし

生体蓄積性:

データなし

土壌中の移動性:

データなし

他の有害影響:

製品　漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処する事。

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報:

容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器包装の廃棄方法:

使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理をすること。

14. 輸送上の注意

国連番号　　国連品名
国連分類

特別の安全対策:

共　通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器に漏れが無いことを確かめ、転倒落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送　車両等によって搬送する場合、荷送り人は運送人に運送注意書やイエローカードを携帯させる。
消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。

海上輸送　船舶安全法の定めるところに従うこと。

航空輸送　航空法の定めるところに従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法
PRTR法

16. その他情報

主な引用文献

日本塗料工業会編集「塗料用データーベース」
溶剤ハンドブック
化学商品（化学工業日報社）
日本塗料工業会編集GHS対応MSDS/ラベル作成ガイドブック（暫定版）
NITE（製品評価技術基盤機構）提供GHS分類結果DB

○本文中の記載内容は、当社の最善の知見に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。
○すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いには細心の注意が必要です。
御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださる様御願い申し上げます。